

報道各位

平成22年度 歯の衛生週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 藤重貞慶）では、来る6月4日から始まる歯の衛生週間（6月4日～10日）にあたり、例年どおり、口腔衛生を呼びかける歯の衛生啓発ポスターを制作し、全国にお届けします。

また、当工業会では、ホームページを通じて、より親しみやすく、わかりやすいオーラルケア情報の発信や会員各社の情報の提供を行っています。本リリースでは、これらの活動内容をはじめ、当工業会の活動についてご紹介します。

『歯の衛生週間の沿革』

歯の衛生週間は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として、昭和3年6月4日に「ムシ歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが、昭和24年から週間行事となりました。昭和27年には6月4日から10日までの1週間に定められ、昭和33年より「歯の衛生週間」として毎年実施されるようになりました。

『平成22年度歯の衛生週間について』

- ・ 目的：歯の衛生に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。
- ・ 標語：「広げよう『噛む』から始まる 健康づくり」
(静岡県 浜松市立北部中学校 3年 深見友香さんの作品)
- ・ 本年度の重点目標
「住民主体による8020運動の新たな展開」
これまで実践してきた8020運動の更なる推進と、地域に根ざした生涯を通じた歯の健康づくりを効果的に進めるため、住民参加型による新たな8020運動の展開を目指して、「住民主体による8020運動の新たな展開」を重点目標とする。

本件のお問い合わせ先

日本歯磨工業会

山下 育生

TEL 03(3249)2511

日本歯磨工業会 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <http://www.hamigaki.gr.jp/>

< 1 > 平成22年度 歯の衛生啓発ポスターの配布

当工業会では、来る6月4日から始まる 歯の衛生週間（6月4日～10日）にあたり、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』

厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会及び日本歯磨工業会

『デザイン』 イラストレーター ひこねのりお氏 （B3サイズ 多色刷り）

『平成22年度 標語』

「広げよう『噛む』から始まる 健康づくり」

日本学校歯科医会が募集した小中学校の標語の中から

静岡県 浜松市立北部中学校3年 深見友香さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」（厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標）

「一生、自分の歯で食べよう」（日本歯科医師会の標語）

「午後のスタートハミガキから」（日本歯磨工業会の標語）

『配 布』

歯の衛生週間に先立ち、このポスター27万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。

『活 用』

このポスターは、歯の衛生週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いします。

「歯の衛生週間（6月4日～10日）」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしております。



平成22年度 歯の衛生啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

当工業会では、お昼の歯みがき率を向上させるために、平成8年度より「お昼の歯みがきキャンペーン」を独自に展開し、インターネット上にホームページ「“お昼休み”みがこうネット」を開設し、お昼の歯みがきを推進すると同時に、各年代の生活者に対応したコンテンツを追加したり、年2回のキャンペーンを実施するなど、幅広い情報発信活動に取り組んでいます。

昨年4月からは「“お昼休み”みがこうネット」から「みがこうネット」へ、サイト名を改め、新たなコンテンツの追加、トップページの改修など、生活者のみなさまへ有意義な情報をよりわかりやすく発信しています。

①「みがこうネット」主な活動

【みがこうネット <http://www.hamigaki.gr.jp/> コンテンツ】

◆ファミリー広場

子ども達に動物の歯のお話をとおして、歯に関する知識と歯の大切さを訴求する「デジタル絵本」を本年3月から公開しています。動物のキャラクターが登場するオリジナルストーリーを作り、デジタル絵本として年4回の更新を予定しています。

◆OLカフェ

ビジネスマン向けアニメーション「あなたの身近にいるみがく君ストーリー」の投稿を募集しています。昨年は、投稿作品から3つ採用し、本年4月には第9話を公開しています。また、新コンテンツとして「OLかわら版」をスタートし、女性が興味を持っているオーラルケアに関するテーマの体験談を掲載しています。

◆歯みがき学校

「はみがき学級」の時間割改修を行い内容の充実と見やすさの向上をはかっています。

工業会サイトでは、定期的な挨拶やコンテンツの更新を継続し、工業会の活動のようすを適時伝えています。

②歯の衛生週間企画「第10回標語募集キャンペーン」

本年も歯の衛生週間に合わせ、「歯の大切さ、歯をみがくことの大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに標語を募集し、歯の健康の関心を喚起すると共に歯磨の重要性を啓発します（4月1日～6月30日の3ヶ月間で展開中）。

最優秀賞の他に、優秀賞、ユニーク賞、ファミリー賞、佳作に選ばれた方には、賞金や記念品を贈呈します。また、選ばれた入賞作品は、当工業会の標語として幅広く活用していきます。

③いい歯の日企画「健康な歯と笑顔フォトキャンペーン」の実施

昨年に引き続き、11月8日のいい歯の日に向けて、「健康な歯と笑顔」をテーマに、インターネット上で写真を募集するキャンペーンを8月～10月に実施する予定です。

< 3 > 平成 2 1 年度日本歯磨工業会の主な委員会活動のご紹介

①技術委員会：日本歯科衛生士学会第 4 回学術大会でランチョンセミナーを開催

昨年 9 月 1 9 日～ 2 1 日、大阪歯科大学楠葉学舎にて行われた日本歯科衛生士学会第 4 回学術大会において、当工業会によるランチョンセミナー「お口の健康を支える口腔衛生製品『歯磨剤』」を開催しました。

本セミナーを開催するにあたり、セミナー内容の企画立案、学会側との折衝など、精力的に準備を進め、「高齢者の口腔衛生の重要性」「歯磨剤の機能・有用性」「歯磨剤の剤型」の 3 テーマを中心に講演しました。当日は歯科衛生士を中心に会場収容人員を超える 1 7 5 名の参加があり、「たいへんに有意義なセミナー」であったと参加者、大会関係者から高い評価をいただきました。

②薬事委員会：薬用歯みがき類製造販売承認申請要領 2 0 0 9 の作成

「薬用歯みがき類製造（輸入）承認申請要領 第二版」は平成 9 年 7 月に発行されましたが、平成 1 7 年 4 月の薬事法改正に伴う新たな通知の発出や、平成 1 8 年 3 月の外原規 2 0 0 6 の発出により、記述内容は現状に合わない状況になっていました。そこで、薬事委員会では改正薬事法等に対応した申請要領を作成することとし、平成 1 9 年 1 月から取り組んでまいりました。

「薬用歯みがき類製造販売承認申請要領 2 0 0 9」（以下、申請要領 2 0 0 9 と略す）の基本方針と構成を決定した上で、本文、記載例及び付録等を作成し、昨年末に最終案を完成しました。その最終案について、医薬品医療機器総合機構、東京都、大阪府及び厚生労働省に内容の確認を依頼し、必要部分を修正した後、申請要領 2 0 0 9 として平成 2 1 年 8 月に発行しました。

申請要領 2 0 0 9 は、会員各社で製造販売承認申請書の作成に活用いただくと共に、東京都、大阪府及びその他の道府県に配布し、薬用歯みがき類の承認審査にご活用いただいています。製造販売承認申請書の作成及び申請から承認審査までが円滑に行える環境が整うことで、申請書作成から承認取得までの期間の短縮にもつながるものと期待されます。

以上

平成 21 年度（1 月～12 月）歯磨出荷・輸出入統計

1. 平成 21 年度の出荷実績について

平成 21 年度の歯磨類全体の出荷実績は、数量では 432,207 千個、中味総量では 73,284 トン、金額では 91,646 百万円で、初の 900 億円台の出荷実績となった。これを前年実績と比較すると、数量では ▲110 千個（±0.0%）でほぼ横ばい、中味総量では▲1,040 トンで 1.4%のマイナス、金額では+1,873 百万円で 2.1%の増加となった。

2. 分類別、剤型別の出荷実績について

本統計は、薬事法の分類により歯磨を「化粧品類の歯磨剤（以下「化粧品」という）」と、「医薬部外品の歯磨剤（以下「医薬部外品」という）」とに分け、また、剤型が液状のものを「液体歯磨（以下「液体」という）」と「洗口剤」とに分けて、それぞれ作成した。

（1）化粧品と医薬部外品の割合

化粧品と医薬部外品の割合は、数量では化粧品 8.0%、医薬部外品 92.0%、中味総量では化粧品 13.7%、医薬部外品 86.3%、金額では化粧品 7.3%、医薬部外品 92.7%となっている。

（2）剤型別の実績

①練・半練及び潤製歯磨の合計は、数量では 370,815 千個、中味総量では 45,828 トン、金額では 70,418 百万円となっており、これを前年実績と比較すると数量では 2,452 千個（▲0.7%）、中味総量では 1,039 トン（▲2.2%）減少し金額では 509 百万円（+0.7%）増加した。なお、歯磨全体に占める練歯磨の割合は、数量では 85.7%、中味総量で 62.4%、金額では 76.7%となっており、半練、潤製歯磨の歯磨全体に占める割合は、金額で 0.1%となっている。

②液体と洗口剤の合計は、数量では 61,392 千個、中味総量では 27,455 トン、金額では 21,228 百万円となっており、これを前年実績と比較すると数量では 2,342 千個（+4.0%）増加、中味総量ではマイナス 0.5 トン（±0.0%）で横ばい、金額では 1,364 百万円（+6.9%）の増加となった。なお、液体と洗口剤の歯磨全体に占める割合は、金額で液体が 11.3%、洗口剤が 11.9%、合計 23.2%となっている。

3. 出荷実績前年比較 (%)

項目	数量	中味容量	金額
練	99.4	97.8	100.7
半練他	85.3	83.8	100.2
小計	99.3	97.8	100.7
液体	106.5	88.3	104.8
洗口剤	102.2	109.3	108.8
小計	104.0	100.0	106.9
合計	100.0	98.6	102.1

以上